

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年7月18日

【2017年7月8日～2017年7月14日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。2年国債金利は低下しました。

政治関連では、年金改革の反対派とみられていたルラ元大統領が、収賄と資金洗浄をおこなった罪で有罪判決が言い渡されています。ルラ元大統領は控訴する方針としていますが、2018年の大統領選挙への出馬が難しくなったとの見方も出ており、市場は好感しています。

また、ブラジル議会上院が労働規制改革法案を可決したことで、テメル政権の構造改革の取り組みが頓挫するとの懸念が和らぎ、レアルは上昇しました。

テメル大統領の起訴については、下院委員会の採決の結果、裁判の開始を反対する票が多数となりました。今後、下院本会議での採決が予定されています。

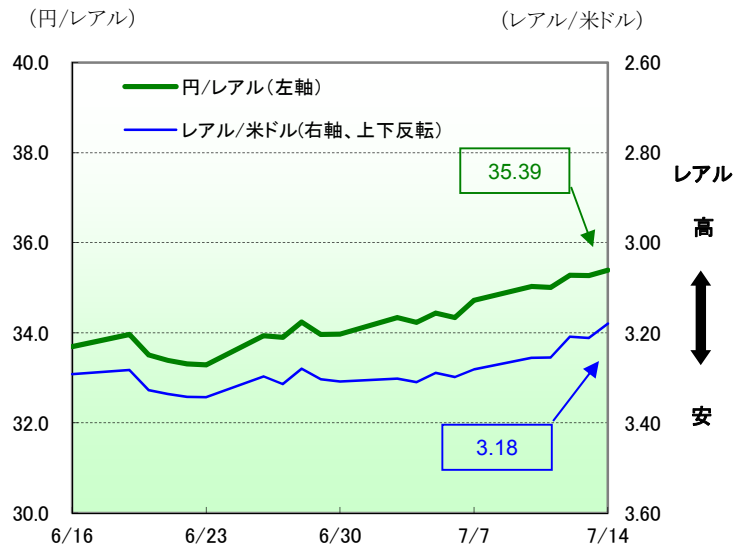
### 【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれていますが、市場予想を超えて低いインフレ率となった場合は、利下げ観測が高まると想定します。

労働規制改革法案の可決は、ブラジルにとって明るい材料となりました。しかし、テメル大統領の支持率の低下を受けて、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きや、社会保障改革法案の内容が後退する懸念などは残っており、政局には注意が必要です。

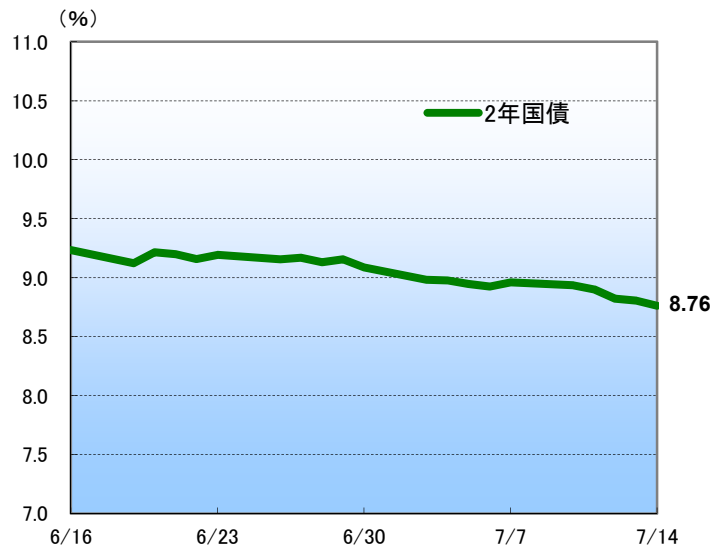
市場で注目されている年金改革を含む社会保障改革法案ですが、政局の混乱により、採決は遅れる見通しです。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年6月16日～2017年7月14日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年6月16日～2017年7月14日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>